

11月の園だより

令和7年10月17日

第一早蕨幼稚園

園長 生田 増美

園庭のイチョウの葉が、色づき始めました。間もなく、黄葉した花びらに見立て、一枚一枚を丁寧に重ねて花つくりが始まることでしょう。第一早蕨幼稚園の園舎が現在の場所に移転された時に植えられた小さなイチョウの木ですが、23年の時を経てすっかり大木になりました。今では、その魅力的な色と形の葉っぱが、子どもたちを夢中にさせてくれています。毎年、続いていく遊びを見ながら、平和で穏やかなか日々に改めて感謝です。

いよいよ今週末は運動会。子どもたちが一生懸命に取り組んできた運動遊びやリズムを張り切って披露してくれると思います。ドキドキする気持ち、恥ずかしい気持ち、嬉しい楽しい気持ち、勝って嬉しい、負けて悔しい…。たった半日の運動会ですが、子どもたちは様々な感情を経験し、葛藤したり乗り越えたり、友達との一体感を感じたりする日になることでしょう。子どもたちの気持ちに共感しながら、成長の大きな一歩になる瞬間を、保護者の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。当日は色々なハプニングや想定外のこともあるかと思います。どの子にとっても有意義な運動会になるよう、精いっぱい、力を尽くしてまいります。ご協力どうぞよろしくお願ひします。

「いつの間に？」

年中で取り組んでいるフラフープ。コツをつかむまではなかなか難しいのですが、うまくなった時は達成感がすごくあります。コツをつかむには、諦めずに練習することも必要で、ギブアップしたくなる気持ちもよくわかりますので、あまり無理をしないような誘い方を心掛けています。取り組み方は様々で、好きな遊びの合間に練習している子、家で練習してきたであろう子もいます。

ランチルームの片隅でコツコツと練習していたIちゃん。腰回しに挑戦していましたが、5回くらいで、フラフープがストンと落ちてしまいます。諦めずに何度も挑戦しています。ある日、何とか10回くらい回すことができました。「すごいね。Iちゃん。この間5回だったのに今日は10回も回ったね。すごいすごい！」と声をかけましたが、何だかあまり嬉しそうではありません。Iちゃんは、仲良しの友達のようにぐるぐると回し続けたいのでしょうか…担任の先生ともそんな話をしました。ところが2日後、ふと見るとIちゃんがぐるぐると自由自在に腰回しをしているではありませんか。「えー。いつの間に！」思わず駆け寄って、「Iちゃんすご過ぎ、いつの間にそんなに上手になったの？」と声をかけました。その時のIちゃんの自慢げな返事「えっ？園長先生知らなかったの？もうずっと前から回せるようになってるよ。こんな簡単簡単」と繰り返し披露してくれました。それからのIちゃんは、腕回しや、フラフープ跳びも着実に上手になってきました。もちろん、ランチルームの陰でこっそりと黙々と練習をしていましたが…。私たちは、出来る出来ないよりも過程を大切にしていこうと思っています。結果よりも、諦めずに頑張り続ける気持ちがとても大切だと思っています。しかし、「できた！」という目に見える成功体験は、一気にやる気と自信につながり、次への意欲となることも間違いません。

園では、今年度から体育遊びを取り入れています。講師の先生方は、誉め上手で子どもたちに身体を動かす楽しさを感じさせてくれると共に、運動のちょっとしたコツや、跳び箱等の補助の仕方を教えてくれます。私たちも子どもたちの「できた！」を後押しする技術も身に着けていきたいと思うこの頃です。今年の運動会は、跳び箱の補助を、体育遊びの先生が手伝ってくれます。「後ほんの少しで跳べる！やった、跳べた！」の子どもたちやる気と自信を一緒に支えていきたいと思います。

